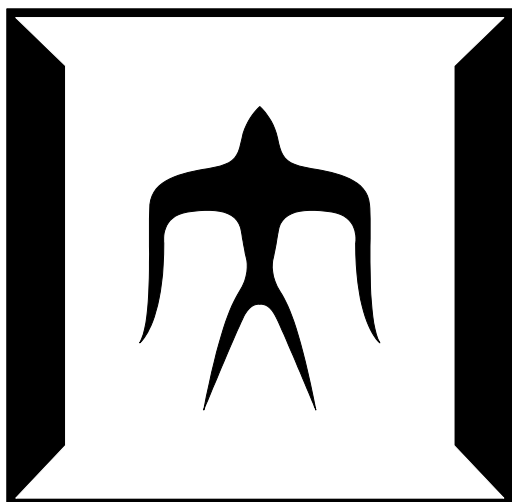


令和四年度

東京工業大学弓道部

部報第貳拾壹号





目次

主将挨拶	3
女子責任者挨拶	3
公式試合結果報告	4
一、女子部記録会	
二、百射会	
三、新人戦	
四、女子部記録会	
五、百射会	
六、国公立大学体育大会	
七、全関東学生弓道選手権大会	
全関を終えて	5
編集後記	6

【現在の弓道部】

4年	2人
3年	13人
2年	18人
1年	26人
内、女子部員	15人

主将挨拶

参年 河井 大輔

弓道部の上半期の活動が終了いたしましたので、これまでの活動をご報告致します。

上半期の公式戦の結果としましては、新人戦棄権、国公立大会準優勝、全関東大会予選敗退となりました。春休み期間には、コロナ第六波による活動の停止及び新人戦棄権という残念な結果となつてしまいました。活動再開後、現チーム初の公式試合である国公立大会では準優勝を収めることができ、大変嬉しいです。国公立大会での勢いを維持し、全関でも結果を残すことが叶わなかったのが悔しい限りですが、コロナ禍によつて奪われていた大会経験を取り戻すことが出来たのは良かったのではないかと考えております。

現在弓道部は老年生二十六人、忒年生十八人、参年生十三人、四年生二人の計五十九人で活動しております。今年も多くは老年生が入部し、部全体としましてはより活気のある雰囲気となりました。また、ようやくコロナ禍以前と同等の対面活動が行えるようになり、普段の練習や試合を通して各々が目標を持ち、射技や的の向上に向けてお互い切磋琢磨しております。今年度の試合も残すところ全日本学生弓道選手権大会とリーグ戦のみとなりました。最近の練習においても部全体の平均的中が向上していますので、この勢いをそのままに、リーグ戦Ⅱ部残留という最終目標に向けて全員で駆け抜けて参ります。OB・OGの皆様、ご協力をお願い致します。今後ともこれまでと変わらぬご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。

女子責任者挨拶

参年 伊藤 春那

弓道部の上半期が終了いたしましたので、今年度も部報にて活動報告をさせていただきます。

本学は昨年度のリーグ戦に不参加であったため新人戦を目標に活動していましたが、活動停止が続く、大変残念ながら参加を辞退することとなりました。三月末に活動を再開してからは、多くの新入部員を迎え練習に励んでおります。公式戦は国公立・全関に出場することができました。そのような貴重な機会でしたが女子団体はいずれも予選敗退と悔しい結果になりました。しかしながら、最近の練習では女子部全体で確実に実力が伸びていると感じております。最近では男子部から刺激を受けることも多いです。女子部もここから他大学と互角に戦えるよう、また勝利を収めることができるよう、全日・リーグ戦に向けてさらに射技、的を向上させていきたいです。

女子部には七名の老年生が加わり、総員十五名ととても賑やかになりました。選手選考で悩むことも多いですが、四・五名で活動していた時のことを思い返すと嬉しい悩みだと感じます。今後とも学年を問わず部員同士で高め合いながら確かな力をつけていけたらと考えております。

七月からは対面試合も少しずつ再開し大学弓道全般でも活気が戻ってきているように感じます。リーグ戦最終週末でしっかり戦いられるよう、現役一同気を引き締めて精進して参ります。OB・OGの皆様、今後ともご支援、ご声援のほどよろしくお願いいたします。

公式試合結果報告

一、女子部記録会

十二月五日 第五十九回女子部記録会

伊藤 春那 (貳年) 16中

二、百射会

十二月十八日 第五十九回百射会

網中 勝浩 (貳年) 57中

三、新人戦

新型コロナウイルスの影響に伴い棄権となりました。

四、女子部記録会

四月三十日 第六十回女子部記録会

伊藤 春那 (参年) 9中

五、百射会

五月一日 第六十回百射会

伊藤 尚輝 (参年) 48中

六、国公立大学体育大会

五月十五日

第七十回東京地区国公立大学体育大会

Aブロック予選

東京外国語大学 20中

一橋大学 19中

本学 22中

Aブロック第1位により決勝進出となりました。

決勝

第一試合

本学 20中

東京大学 28中

第三試合

本学 21中

電気通信大学 19中

よって、団体戦準優勝となりました。

五月十五日

第七十回東京地区女子国公立大学体育大会

Bブロック予選

一橋大学 16中

東京農工大学 12中

東京外国語大学 15中

本学 9中

よって、予選敗退となりました。

七、全関東学生弓道選手権大会

五月二十八・二十九日

第五十二回全関東学生弓道選手権大会

男子団体戦

予選 7中(敗退)

女子団体戦

予選 2中(敗退)

よって、男女ともに予選敗退となりました。

全関を終えて

【伊藤 尚輝】

私は第五十二回全関東大会男子団体戦予選でも光栄なことに大前として出場させていただきました。初の学連主催の大会であり、緊張感をもって臨みました。結果としては、予選落ちとよくないものでした。敗因としては単純に実力不足ですが、まだ我々弓道部は場数を踏めていないことにもあるように思えます。大前として初矢を中てるべきところを外してしまい、それまでは練習試合含め初矢を中てていたのですが、外した場合どのようなメンタルで持ち直せばいいかがシミュレーションできていませんでした。初矢を中てるということは大前が必ず果たすべき役割でありますが、どんなにすごい大前でも100%中るというわけではありません。そのような状況が崩れたときに個人として、チームとして何をすべきかしつかり考え次につなげていこうと思えます。ありがとうございます。

【乙部 智輝】

練習試合を重ねて臨んだ全関予選でしたが、思うように力を出すことができませんでした。その原因は、一立目の緊張感と調節が難しい状況だったと思います。一発勝

負である以上、緊張してしまうのに加えて、的に立ってすぐの射は定まらないことが多く、その二点で思うような結果が出なかったのでしょうか。今後の練習では全日に向けても、巻藁で的前のビジョンを作る意識をしていきたいです。

【小林 航己】

東工大に入学してから初の公式戦で、自分は参的に引かせていただきました。結果は四射一中と悲惨でしたが、この全関東大会を通して様々な事を得ることができました。射技面では、試合特有の癖が顕著に現れてしまったので、今後は公式戦において自分の思い通りの射をする事の一つの目標として精一杯稽古に励んでいきたいと思えます。

【宮崎 孝太郎】

全関東学生弓道選手権大会では四的を務めさせていただきました。結果は残念という結果になり、緊張から射形が乱れてしまい自分の力を発揮することができなかったと感じています。これから試合の経験を増やしていき、緊張してもいつも通りの射が出来るよう努力していけるように練習していきたいと思えます。

【中山 創】

自分より前の四人が初矢を連続で抜いてしまったが、その悪い流れを自分で断ち切ることができたのは良かった。しかし、その後も続いた立全体の悪い流れの中で焦ってしまつて中てることができず、自分の結果は一中で満足のいくものではなかった。流れに動じず自分の射ができるように今後の練習に励んでいきたい。

【末田 悠大】

自分は落として出場しましたが、初の学連主催の大会ということもあり、一、二本目は緊張で普段通りの射ができませんでした。落としての経験の浅さや自分の射技の未完成さをつきつけられ、悔いの多く残る大会だったと感じています。これから、全日、リーグ戦と続く試合に向けてこの悔いをバネに頑張っていきたいと思えます。

【林 瑠子】

全関予選では大前で四射しました。選手として選んでいただけたにも関わらず残念という結果を出してしまいとても悔しいです。原因としては緊張から前日の練習までとは違う射形になってしまったこと、またそのことに焦ってしまったことだと考えています。緊張感がある試合の中でも毎回同じ射で引けること、緊張で射が崩れてしま

つても焦らずに四射の中で調整ができるよう今後の練習では意識していきたいです。

【津田 真里愛】

前日の予定では控えだったため、出場出来たことはとても嬉しく思います。しかし、緊張感の中で会がきちんと保てなかったり左右のバランスが崩れたり、的中を出すことができませんでした。やはり練習の段階で定着していない射形は試合になると崩れてしまうので、普段から自分の射形を定着させて安定したの中を出せるように精進していきます。

【伊藤 春那】

全関予選では落で四射しました。緊張や焦りからか普段通りの射ができず不甲斐ない結果となりました。直前の練習で合計七中程度が何度か出ていたため本番で出せなかったことがとても悔しいです。引退まで残り少ないですが自分の射を見つめ直して落で堂々と引けるようにしていきたいです。次の全日はしっかり準備して臨み、アーリーナでの試合を楽しみたいと思います。

編集後記

例年通り、部報という形で現役部員の活動を報告させていただきました。詳しい試合結果につきましては公式ホームページをご覧ください。

また、今年度は参年の林が部報作成をいたしました。新型コロナウイルスの影響により活動のできない期間が長かったですが、今年度はコロナ渦以前のような活動を行えるようになりました。残る公式戦に向けて部員一丸となって頑張ってください。今後ともOB・OGの皆様から、ご支援、ご指導をいただけましたら幸いです。よろしくお願いたします。

参年 林 瑠子

公式ホームページ：

<http://titech-kyudo.net/>

<https://tokyotech-kyudo.com>

燕弓会ホームページ：

<http://swallow.titech-kyudo.net/>

両ページ内のパスワード： mlktea

東京工業大学弓道部 部報第貳拾壹号

発行日 令和四年八月五日

発行所 東京工業大学弓道部

編集人 林 瑠子

発行人 河井 大輔